



2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

株式会社テリロジー

JASDAQ

Securities code : 3356

2021年3月期 第2四半期実績

業績ハイライト	4
損益計算書	5
第2四半期累計期間売上高・営業利益推移	6

事業部門別実績

ネットワーク部門	7
セキュリティ部門	8
モニタリング部門	9
ソリューションサービス部門	10

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想	12
---------------	----

2021年3月期 下期の取り組み

2021年3月期 下期の取り組み	14
(ご参考) 売上高・営業利益の推移	20

2021年3月期 第2四半期業績

対前年同期比で増収・増益

- 売上・受注** ・ ネットワーク部門、セキュリティ部門の受注活動が堅調に推移したことで**売上高は増加**

売上高 : 1,941百万円 (5.5%増 101百万円増)
受注高 : 2,015百万円 (11.4%増 206百万円増)
受注残高 : 375百万円 (12.7%増 42百万円増)

(対前年比)

- 利益** ・ 新型コロナウイルス感染拡大での事業活動の中、売上高の増加と利益率の向上により**利益は増加**

経費 : 販管費等※ : 834百万円 (9.7%増 73百万円増)
・ 増加要因 : 新卒・中途採用による人員増
IGLOOO社新規連結







※売上原価「技術人件費」含む

営業利益 : 170百万円 (108百万円増、前期 61百万円)
経常利益 : 177百万円 (105百万円増、前期 72百万円)
四半期純利益 : 117百万円 (74百万円増、前期 43百万円)

(対前年比)

損益計算書

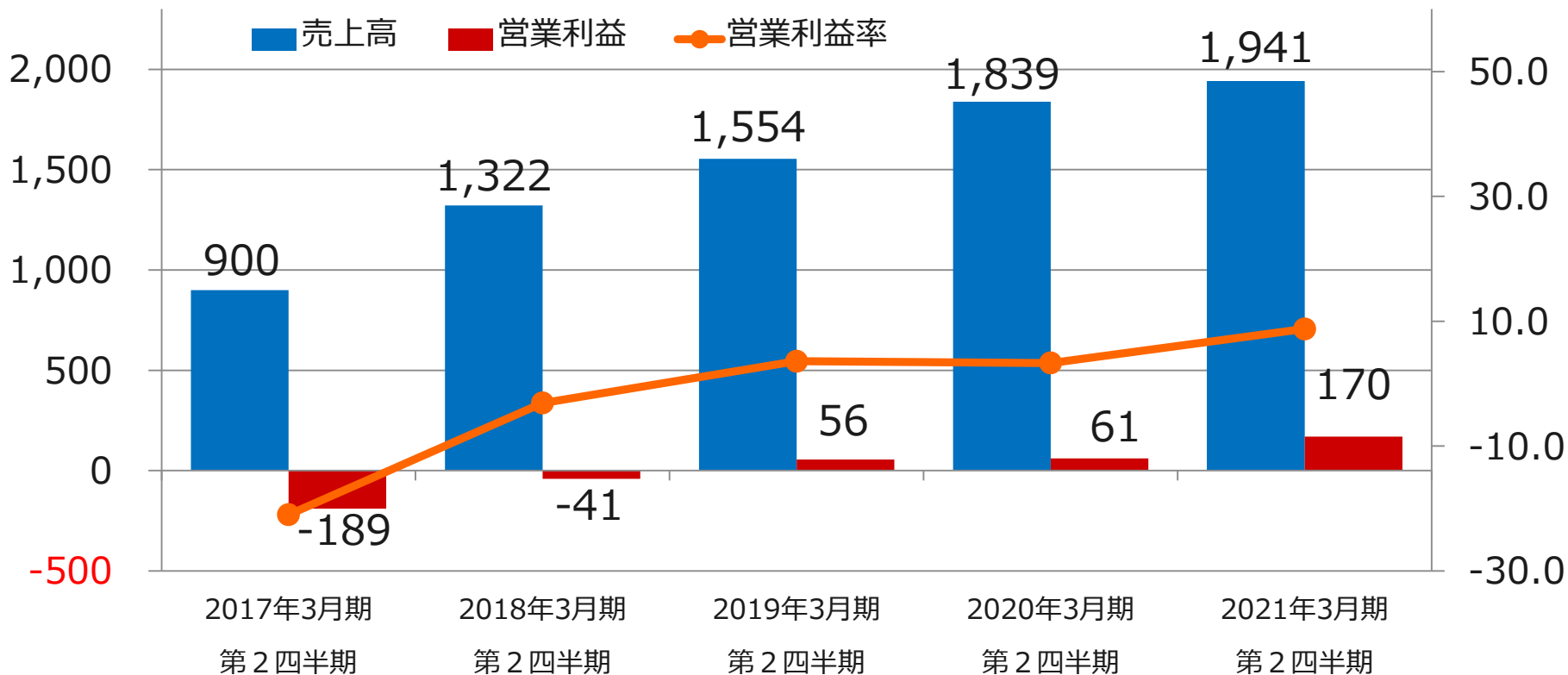
対前年同期比で増収・増益

(単位：百万円)	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期	
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	1,839	1,941	 101	5.5%
売上総利益	666	819	 152	22.8%
販売管理費	605	649	 43	7.2%
営業利益	61	170	 108	177.6%
経常利益	72	177	 105	144.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	43	117	 74	171.7%
為替レート（ドル）	108.63円	106.92円		
1株当たり四半期純利益	2円64銭	7円09銭		
自己資本比率	55.1%	54.0%		

第2四半期累計期間売上高・営業利益推移

(百万円)

(%)



決算期	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期
売上高	900百万円	1,322百万円	1,554百万円	1,839百万円	1,941百万円
営業利益	△189百万円	△41百万円	56百万円	61百万円	170百万円
営業利益率	-21.0%	-3.1%	3.6%	3.3%	8.8%

事業部門別実績 ネットワーク部門

当社主要顧客を中心に「Infoblox」製品のリプレース需要が増加、「Radware」製品は前総販売代理店からの顧客の巻き取り活動に注力

増収

売上高：518百万円

対前年同期比：85百万円増、増減率：19.7%増

■トピックス

- ・当社グループ主要顧客を中心に、IPアドレス管理サーバ「Infoblox」製品の現行モデルから新モデルへのリプレース需要が増加
 - ▶教育機関、国内企業など案件数：25件、導入台数：65台（受注ベース）
- ・テレワーク、フリーアドレス制の導入による企業内でのWi-Fi利用の拡大からクラウド型無線LAN「Extreme Networks（旧Aerohive）」製品の導入は引き続き堅調に推移
 - ▶国内製造業、国内建設業、医療機関などに採用
- ・今期から販売開始の「Radware」製品は、前総販売代理店からの顧客の巻き取り活動により、次世代ネットワーク最適化案件の受注を獲得
 - ▶受注金額：79百万円、今期保守売上見込：33百万円（2020年9月末現在）

事業部門別実績 セキュリティ部門

国際的なスポーツ競技大会の開催延期、
社会生活や経済活動でのインターネットへの依存度の増大により
サイバー攻撃へのリスクが高まった

増収

売上高：690百万円
対前年同期比：102百万円増、増減率：17.4%増

■トピックス

- ・ OT/IoTの普及により、電力系などの重要インフラや工場及びビル管理などの産業制御システムのセキュリティ対策が緊急を要したことにより「Nozomi Networks」製品の引き合いは増加
- ・ 特定の組織、企業などを標的にしたサイバー攻撃に備えたサイバーセキュリティ対策への取り組みが増加
 - ▶ ネットワーク不正侵入防御セキュリティ・・・TippingPoint
 - ▶ 標的型攻撃対策クラウドサービス・・・LastLine
 - ▶ ワンタイムパスワード・・・OneSpan (旧VASCO)
 - ▶ ネットワーク脆弱性診断サービス・・・RedSeal+Rapid7
- ・ サイバー攻撃リスクの増加によりサイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を収集分析する「KELA」サイバースレットインテリジェンスサービス及びサプライチェーン、グループ企業のサイバーリスクを可視化する「BitSight」リスクスコアサービスは引き続き堅調

新型コロナウイルスの感染拡大による在宅勤務の急速な広がりから
ネットワークのデータ通信量は増加傾向に

売上高：345百万円
対前年同期比：69百万円減、増減率：16.7%減

■トピックス

- ・ 当社独自のポケットキャプチャ製品「momentum」は、官公庁向け大型受注の売上計上や、その他案件の受注活動も堅調に推移
- ・ Microsoft365などSaaSのパフォーマンスを可視化して原因を追究する当社開発の運用監視クラウドサービス「CloudTriage」は、当社グループの主要顧客に向け受注活動に注力
- ・ ネットワークのパフォーマンスモニタリング製品「SevOne」は、国内金融機関向けネットワーク可視化の追加案件を受注

新型コロナウイルス感染拡大による在留外国人対応の「みえる通訳」、
「Zoom」などのビデオ会議は需要が増加

売上高：387百万円
対前年同期比：16百万円減、増減率：4.0%減

■トピックス

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大で在留外国人対応に「みえる通訳」の需要拡大
 - ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪日外国人旅行者は急減するが、品川区、飯塚市、深谷市、東近江市などの自治体、横浜銀行、千葉県内の医療機関では窓口業務などでの在留外国人対応の需要増加により採用
- ・ 通訳サービスで培った経験から翻訳サービスを提供するなど収益源の多様化へ
- ・ 新型コロナウイルスの感染防止対策の一つである「Zoom」などのテレビ会議サービスは、人事・営業部門、医療機関、研究機関からの引き合いが増加
- ・ 自社開発の究極的にカンタンなRPAツール「EzAvater」の販売強化に向け、販売代理店網の拡大強化とブランドの知名度向上のマーケティング活動に注力
 - ▶ EzAvater販売代理店：8社（2020年9月末現在）
- ・ 前期より販売を開始したAR（拡張現実）とAI（人工知能）を活用した映像による非接触型のリモートサポートサービス「TechSee」は、国内大手通信事業者コールセンターに採用

2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想		
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	4,051	4,180	129	3.2%
売上総利益	1,513	1,521	8	0.5%
販売管理費	1,249	1,321	72	5.8%
営業利益	263	200	△63	△24.2%
経常利益	288	200	△88	△30.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	140	△74	△34.8%
為替レート（ドル）	108.75円	115.00円		
1株当たり当期純利益	13円03銭	8円44銭		
年間配当金	5円00銭	5円00銭		
配当性向（連結）	38.4%	59.2%		

2021年3月期 下期の取り組み

2021年3月期 下期の取り組み

■ ネットワーク部門

- ・ 上期に引き続き、IPアドレス管理サーバ「Infoblox」製品の現行モデルから新モデルへのリプレース需要による大型案件やDNSセキュリティ案件が見込まれる



- ・ リモートワークの増加によりひっ迫した回線問題を解決する次世代ロードバランサ製品の需要が拡大

- ・ ランサム（脅迫付き）DDoS攻撃の増加により「Radware」製品の需要が高まる



- ・ GIGAスクール構想に向けた安全・安心なネットワークを構築するセキュアなクラウド型無線LAN「Extreme Networks（旧Aerohive）」の受注が見込まれる



2021年3月期 下期の取り組み

■ セキュリティ部門

- ・ 「Nozomi Networks」は、上期の大手製造業の国内導入実績から海外工場への展開が見込まれる



- ・ リモートワークの増加により脆弱性が危惧されているVPN接続に代わりセキュアなゼロトラストネットワークアクセスを実現する「Tempered Networks Airwall」の需要の増大が見込まれる



- ・ サイバー攻撃リスクの増加によりサイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を提供する「KELA」サイバースレットインテリジェンスサービスの5年契約の中央官庁大型案件を受注予定



- ・ AWS、Microsoft365などのSaaSの需要の高まりから、ログ分析・管理/SIEMプラットフォーム「SumoLogic」は、製造業やサービス業からの受注増大が見込まれる



2021年3月期 下期の取り組み

■ ソリューション部門

- **新型コロナウイルス感染症の拡大で、在留外国人やろう者対応（手話）の「みえる通訳」は自治体を中心に受注が見込まれる**
 - 下期導入実績
 - ▶ 自治体：深谷市、瑞穂町、十日町市、富谷市等
 - ▶ 医療機関：東京都福祉保健局、大阪医科大学付属病院等
 - ▶ その他：東京都つながり創成財団、足立区社会福祉協議会等
- **「みえる通訳」で培った経験から各種サービスを提供することによる事業の多様化へ**
 - 海外拠点や海外取引先との商談での「みえる通訳」と連携した遠隔通訳サービス
 - 通訳オペレーターを活用した翻訳サービス
 - 公立学校における児童・保護者とのコミュニケーション支援サービス
- **リモートワークや在宅勤務の標準化ツールとなった「Zoom」が、上期に引き続き、人事・営業部門、教育機関、医療機関、研究機関等からの継続受注が見込まれる**
 - 採用面接、研修、イベント等のオンライン化によりWEBセミナーの引き合いが急増
 - 多様なケースに対応した附帯機器需要も堅調
 - Zoom+各種ソリューション（SumoLogic等）の付加価値サービスの展開



■ ソリューション部門

- ・ 自社開発のRPAツール「EzAvater」は、アプライアンス版やアカデミック版、特定業界に向けたパッケージ化により需要拡大を促進する
 - 首都圏の中堅・中小企業からのお問い合わせの増加
 - 「ユーザー部門」で導入・運用可能なRPAとして展開

- ・ コロナ禍での非接触型リモートサポートサービスのニーズを受け、AR（拡張現実）とAI（人工知能）を持つ「TechSee」の販売強化へ
 - これまでの通信・放送業界に加え、製造業、住宅業界からの引き合いが増加
 - ニューノーマルを支える技術として注目を浴びるTechSee社は資金調達（30百万米ドル）に成功。同社と共に、5G時代を見据え、画像認識AIを活用、お客様が自らがトラブルを解決する「DIYサポート」市場の拡大を狙う



2021年3月期 下期の取り組み

■ VNCS Global Solution Technology社



ハノイテレコム子会社と合弁事業会社を設立
経済成長著しいベトナム市場でのセキュリティ・ソリューション事業開始

- ・ベトナム情報通信省よる「**国家サイバーセキュリティ監視センターとの接続と情報共有の要件を満たすSOC**」8社に認定
- ・テリロジーとVNCS Global、ブロードバンドセキュリティの3社が提携し、クレジットカード業界の国際セキュリティ基準PCI DSSに関して、ベトナムでの「**日本品質**」の**セキュリティコンサル事業**をスタート



VNCS Global セキュリティ・オペレーション・センター

- ・テリロジーが国内で取扱う商材を**ベトナムの工業団地、スマートシティ**に向けて販売
- ・ベトナムの政府、企業に向けて**セキュリティ訓練サービス**を提供へ

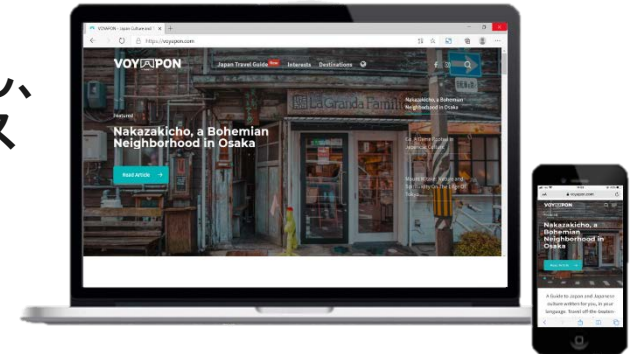
2021年3月期 下期の取り組み

IGLOOO

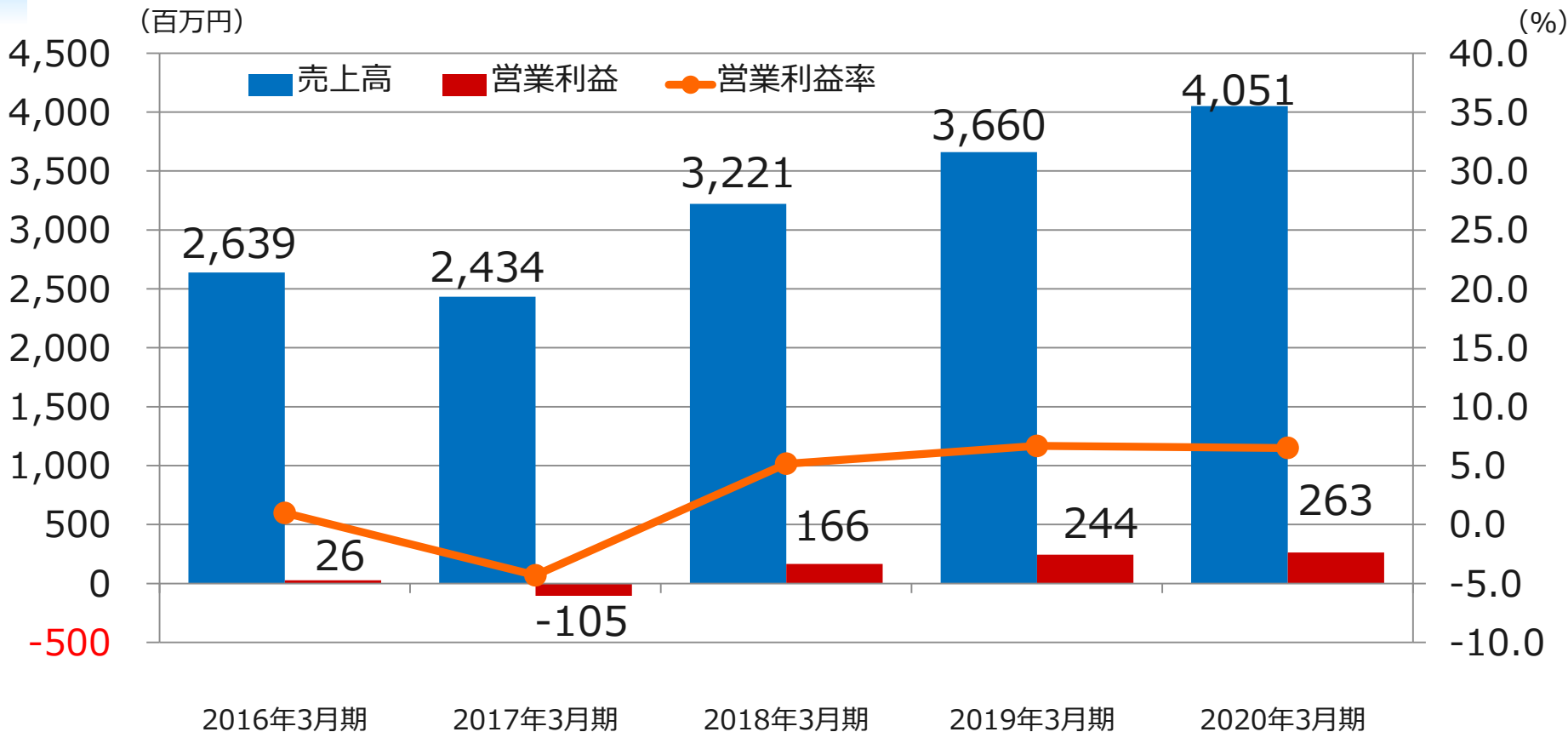
■ IGLOOO（イグルー）社

「旅マエ・旅ナカ・旅アト」インバウンド事業のバリューチェーン強化
アフターコロナを見据えたインバウンド支援プロモーションを提供

- ・ ミキ・ツーリスト社/IITP社と共同で「海外旅行博オンライン出展サポートパッケージプラン」の提供を開始し、欧米豪を中心としたオンライン旅行博出展支援サービスをスタート
- ・ インバウンド向けプロモーションWEBメディア「VOYAPON（ヴォヤポン）」をリニューアル
- ・ “外国人目線”に立ったストーリーテリング型越境ECサイト「VOYAPON STORE（ヴォヤポンストア）」を開設し、日本国内の伝統的な工芸品や食品を取り扱う事業者・法人に向けた越境EC支援サービスを開始
- ・ 中国向けデジタルマーケティング事業のunbot社と中国市場における欧米豪向け観光プロモーションの独占パートナーとして業務提携



ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	2,639百万円	2,434百万円	3,221百万円	3,660百万円	4,051百万円
営業利益	26百万円	△105百万円	166百万円	244百万円	263百万円
営業利益率	1.0%	-4.3%	5.1%	6.6%	6.5%



[免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

広報宣伝・IR担当
TEL:03-3237-3291
E-mail : ir@terilogy.com